

— てるてる坊主型
情報提供デバイス

アイチン 古東佑一 ゴシエイ 安井健人

現状と取り組むべき課題

現状

- ・スマホ依存

→現代人の多くが情報入手手段として、必要以上にスマートフォンを利用している。

課題

- ・スマホの役割を一部担える代替性
- ・即座に情報を得られる即時性

コンセプト

生活に関わる情報を無意識下に提供する

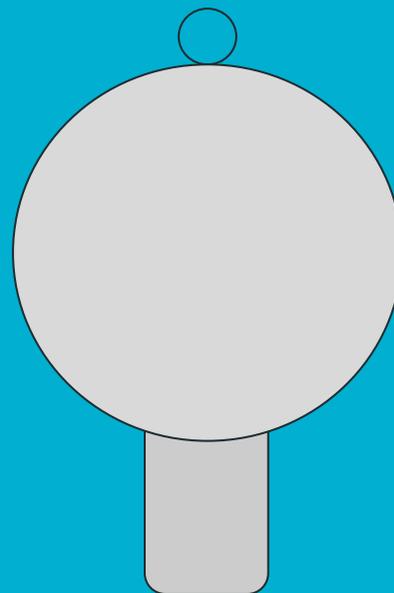
⇒光を使った視覚的な情報伝達

⇒簡単な情報を必要なシーンで素早く

製品概要

商品名	電子てるてる坊主(仮)
役割	天気を光の色で伝える
ターゲット	一般家庭 福祉・教育施設
利用シーン	起床時、就寝時 出かける前

商品イメージ



製品仕様

・天気に応じて発色

→日中は当日分、夜に翌日分へ自動切り替え

・LED電球に小型コンピュータ内蔵 (M5STACK)

・人感センサーで自動的に電源ON

・サイズ：直径約65mm

※光の色、光り方などについては現在検討中

内部処理の流れ

出力側: 情報を視覚情報で表現

LED部分

情報を判別
して出力

M5stack



天気の情
報

入力側: 天気の情報は外部のAPIを利用

天気API

M5Stack



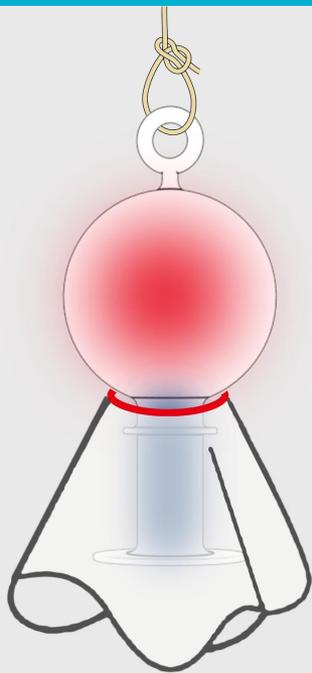
320 x 240 TFTカラーディスプレイ、microSD
カードスロット、スピーカー、WiFi及び
Bluetooth通信機能を搭載した開発モジュ
ール

気象情報APIについて

—
天気の情報はM5Stackで外部サービスを利用して取得する仕様。APIは多くの団体から有料のものから無料のものまで様々リリースされている。

- ・YOLP気象情報API(Yahoo): 無料、緯度経度を指定すると降水量を返す
- ・SimpleWeatherAPI: 無料、回数制限なし、具体的な場所の指定ができない
- ・WeatherAPI: 無料版は一日150回の制限あり、比較的詳細な予報が得られる
- ・Weather2020 API: 無料版は一日1000回の制限、詳細な予報

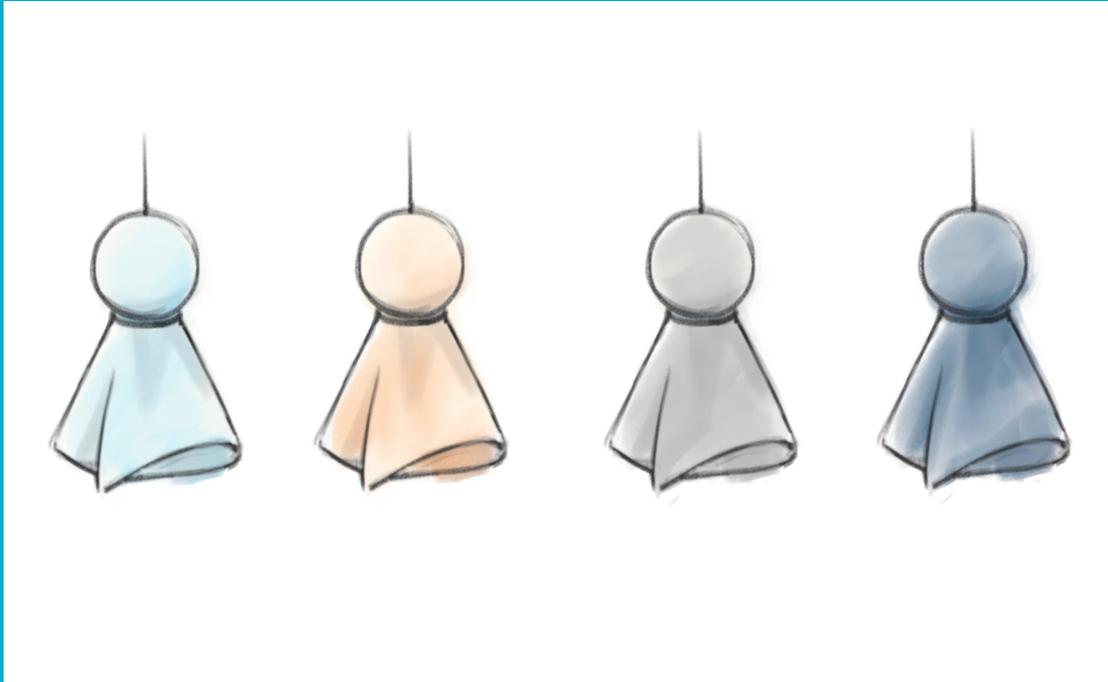
製品デザイン



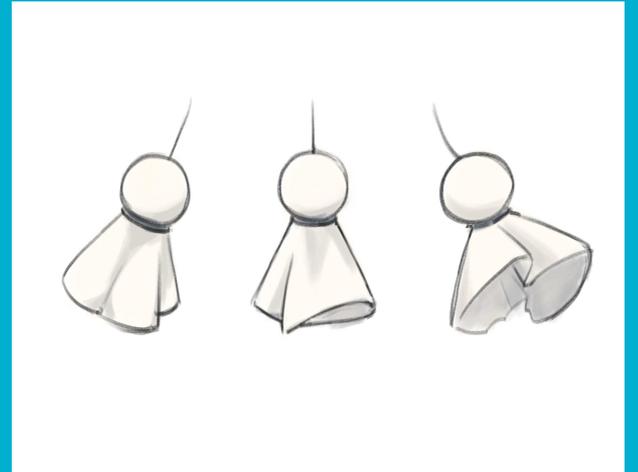
モデル(想定)

製品デザイン

光の色のイメージ



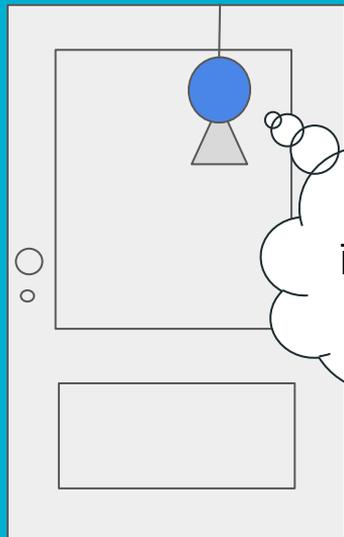
人を感知すると揺れるイメージ



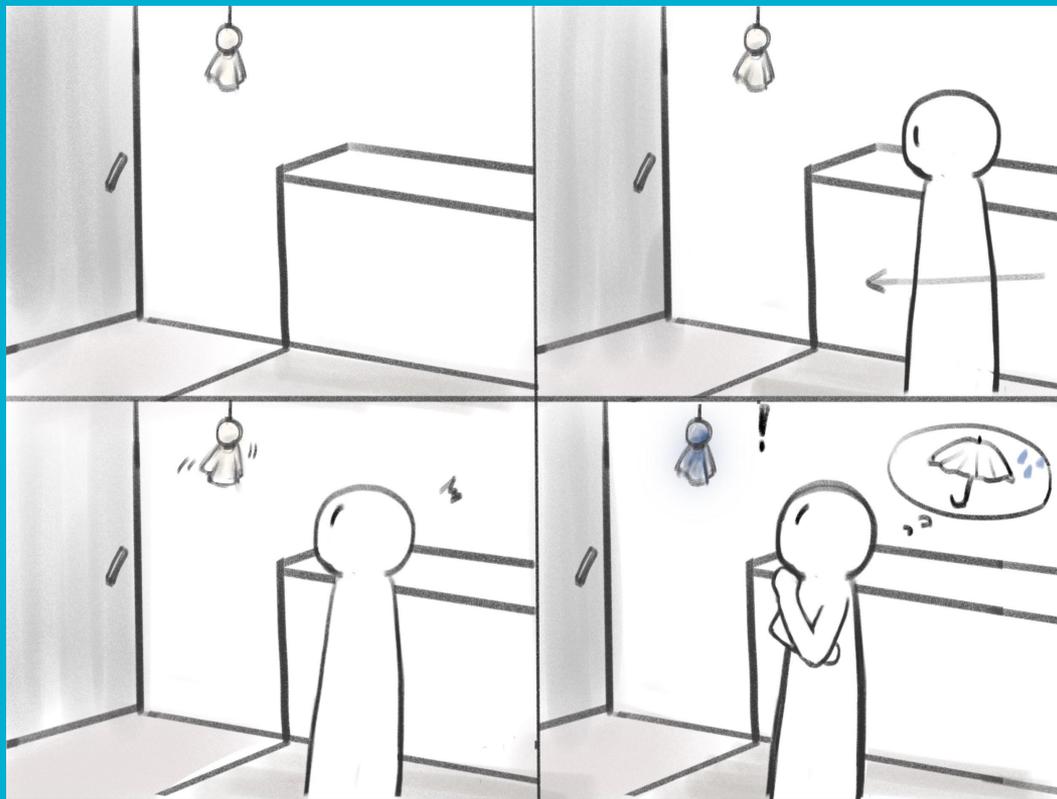
利用シーン

玄関先に設置

活用: 傘の確認、熱中症対策の確認



雨、傘が必要



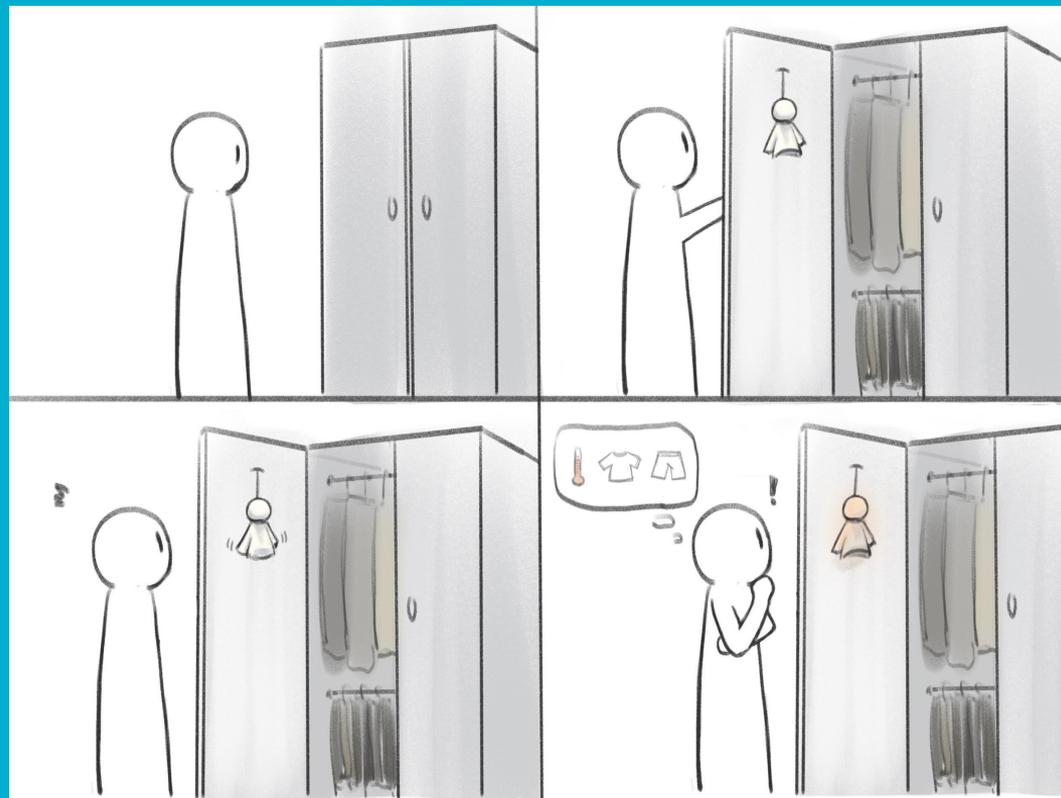
利用シーン

クローゼットに設置

活用: その日の服のコーディネート



晴れ、暑そ
う、薄着



今後の課題

・光の情報表現の幅を広げる

光の色だけでなく点滅、光の範囲等情報表現を工夫するなど情報量を上げる機能が必要

・製品の単価を下げる

機能はかなり限定された製品であるので、できる限り安価で売る必要がある。

⇒消費者に手に取ってもらえるには..

今後のスケジュール

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

仕様書再考
設計書作成

部品発注

システム導入・製作

評価・課題分析